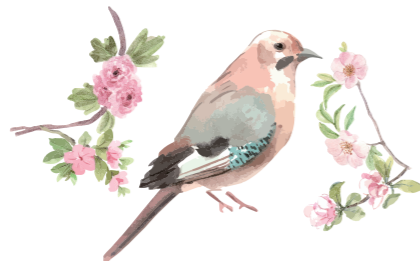


## 賛助会員募集

### NPO法人POPOLOとは

様々な事情を抱えた方々が自らの意思で決定し幸せな人生を送れるようになることを目指し行政企業関係団体と連携してワンストップの支援を行っています。

事業の性質上収入が生まれるものではないため活動を続けていくためにも皆様からのご支援をお願いいたします。



振込はお近くの郵便局の振込表で下記のように記載ください。

口座番号 00810-3-136229

加入者名 特定非営利活動法人 POPOLO

| 名 称  | 金 額          |
|------|--------------|
| 個人会員 | 1口 5,000円から  |
| 法人会員 | 1口 10,000円から |
| 学生会員 | 1口 1,500円から  |



特定非営利活動法人 POPOLO

〒420-0868 静岡市葵区宮ヶ崎町 53 番地

TEL 054-254-5718 / FAX 0545-77-8565

Mail [info@npo-popolo.org](mailto:info@npo-popolo.org)

<http://npo-popolo.org/>



コロナ禍における生活困窮者のための総合支援事業



## 「助けて」と言える社会へ

2015年に内閣府から発表された「生活状況に関する調査(15歳～39歳が対象)」によると54万人以上の人々がひきこもり状態にあると言われ、2019年には40歳代以上の対象者が61万人以上、合計100万人以上の世帯が細い対人関係のなかで孤立しているという調査結果が発表されています。

また、就労しているにも関わらず相対的貧困率が50%を超えているひとり親家庭の2割以上に相談相手がいないと言われており、そのうちの約6割が相談できる相手が欲しいと回答しています。(厚労省：平成28年度全国ひとり親世帯等調査結果)

そのうえ、新型コロナウイルス感染拡大によって大学生の学生生活は大きな変化と困難に見舞われるようになりました。親の収入が減少したり、アルバイト先の閉店、休業によって、生活費や学費の捻出ができず、学生生活そのものが困窮している経済的な問題の増加だけでなく、感染拡大防止のために大学のキャンパスに立ち入ることができず、一人で過ごす時間が長くなることで孤独感が増し新入生は新しい友達を作る機会が失われ、見知らぬ土地で強いられられた巣ごもり生活は心と体に悪影響を与えています。大学生等の若者への支援や心理面へのケアの必要性が求められています。

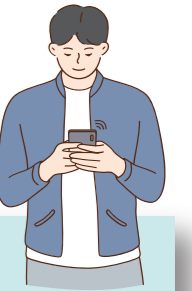
私たちは、困りごとや生き辛さを抱えているにも関わらず、「助けて」と言うことが出来ず、社会の中で孤立し、どこにも行きつかない苦しさを抱えながら生きている方々へ積極的な関わりを持ちに行くことにより、「困った」と言える仕組みの構築を行いました。

「ひきこもり」や「ひとり親」、「車上生活」や「若年層の相談者」等多様化するニーズに対し、地域の相談窓口と連携を図りながら、道の駅などへの巡回、24時間対応のチャットボット相談を行い、相談しやすい環境作りを整えました。

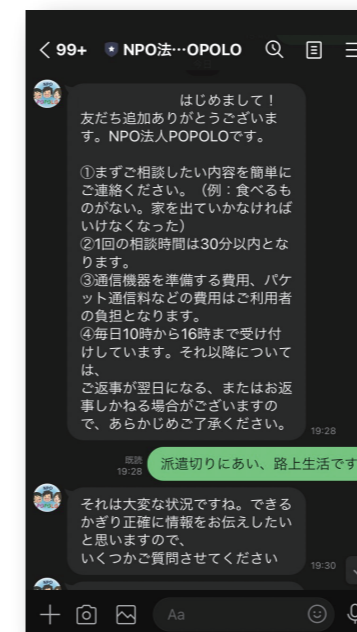
相談ができるようになった後には相談援助や同行、住居や食糧支援等の具体的な支援を提供し、個々が抱える困りごとや悩みごとを解決する総合的な支援を行いました。

「相談したいけど、平日は仕事をしていて相談窓口に行けない」、「相談するとき人と会いたくない」等の理由により、相談することが出来ずに孤立している方々のために24時間困りごとに応じて、相談できる機関や制度を案内するAIチャットボットシステムによる相談を導入いたしました。また、有人対応を希望する方には、今年度より有人LINEチャットを開設し、有人できめ細やかな相談対応を実施しました。

また、多くの方にチャットボットにリーチできるように、SNS (YOUTUBE、Twitter、Facebook) を活用し、Twitter広告やFacebook広告を行いました。



LINEチャットボット



有人LINEチャット

### 相談実績一覧

|           |                            |
|-----------|----------------------------|
| ①ナビゲーション  | アクセス数 1305回<br>新規相談件数 92件  |
| ②有人LINE相談 | 相談延べ件数 828回<br>新規相談件数 156件 |
| ③電話・メール相談 | 相談延べ件数 184回<br>新規相談件数 172件 |



# 🐦 NPOと学校と連携したアウトリーチ

新型コロナウイルス感染拡大によって、学生やひとり親家庭にも大きな影響を与えました。生活は大きな変化と困難に見舞われるようになり、収入の減少、パート・アルバイト先の閉店、休業によって、生活費や学費の捻出ができず、生活そのものが困窮している経済的な問題の増加および、一人で過ごす時間が長くなることで孤独感からくる、心の問題も生じているため、学生やひとり親世帯への支援や心理面へのケアの必要性が求められています。

そこで、学校、ひとり親世帯支援のNPO、若者支援のNPO、女性支援のNPOと連携し、食品配布会およびなんでも相談会の実施をしました。

## ① 定時制高校での配布会・相談会

|   |
|---|
| 『実施場所』<br>静岡県立静岡高等学校、静岡県立静岡中央高等学校、静岡県立清水東高等学校   |
| 『連携団体・機関』<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・静岡県立静岡高等学校</li> <li>・静岡県立清水東高等学校</li> <li>・静岡県立静岡中央高等学校</li> <li>・NPO法人しずおか共育ネット</li> <li>・NPO法人男女共同参画フォーラムしずおか</li> </ul> |
| 『実績』<br>合計 延べ相談件数 641件      新規相談件数 196件   |



## ② 静岡県立大学ボランティアセンター食糧支援プロジェクト 食べ物カフェとの連携

|   |
|---|
| 『実施場所』<br>静岡県立大学  |
| 『連携団体・機関』<br><ul style="list-style-type: none"> <li>・静岡県立大学ボランティアセンター</li> <li>・NPO法人フードバンクふじのくに</li> </ul> |
| 『実績』<br>合計 延べ相談件数 315件      新規相談件数 136件   |



## ③ ひとり親世帯への配布会

|  |
|--|
| 『実施場所』<br>静岡市内各地域                      |
| 『連携団体・機関』<br>・シングルペアレント101             |
| 『実績』<br>合計 延べ相談件数 295件      新規相談件数 54件 |



## ④ その他企業との連携

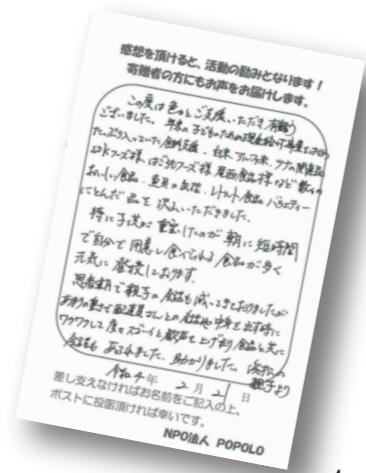
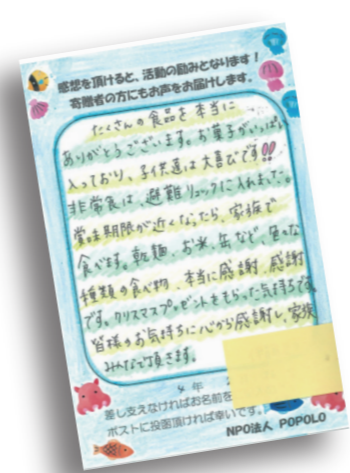
### (1) 生活協同組合パルシステム静岡との連携

生活協同組合パルシステム静岡から、生活協同組合パルシステム連合会で行っている、パルシステム給付型奨学金の対象者を探しているというお話をいただき、LINE相談や配布会等のアウトリーチでつながりを得た大学進学希望の高校3年生がいる世帯へ情報提供と当法人からの推薦を行いました。2022年度の応募に1世帯しており審査結果を待っている状況です。(2022年3月末現在)

### (2) 匿名企業からの寄付で急遽行った、現金給付事業

アウトリーチを行うなかで静岡県内の企業から子どものいる生活困窮世帯直接へ直接的に現金支援できないかという相談がありました。  
 企業からの寄附金を原資に自主事業として企画し、静岡県内の社会福祉協議会や生活困窮者自立相談支援機関と協力して、静岡県内の100世帯への現金給付を行いました。  
 給付を行うだけでなく、「コロナ渦における生活困窮者のための総合支援事業」の周知を行い、対象世帯を当事業のLINEチャットボットへ案内することで相談援助も実施しました。

|   |
|---|
| 『実施日程』<br>2021年12月～2022年1月                                |
| 『連携団体・機関』<br>静岡県内19市3町の社会福祉協議会および、生活困窮者自立相談支援機関からの推薦があった。 |
| 『給付件数』<br>100世帯   |



# 夜回りによるアウトリーチ

住居を喪失し、車上生活や広義のホームレス（不安定な居住状態にある方々）等にアウトリーチを行う為、駅周辺、道の駅やコンビニ、スーパー、マンガ喫茶の巡回および、ポスター掲示依頼を行いました。地域の企業にも周知協力を働きかけた結果、静岡県遊技業協同組合様のご協力を得て、静岡県内のパチンコ店に事業周知のチラシの掲示依頼を行うことができました。

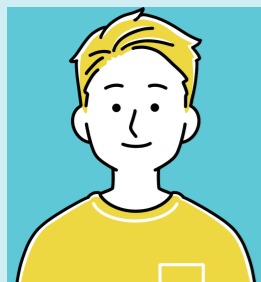
何度も夜回りを続けることで、関係性がよくなって、生活保護につながるケースもありました。



|           |      |
|-----------|------|
| 夜回り相談延べ件数 | 316件 |
| 新規相談件数    | 22件  |

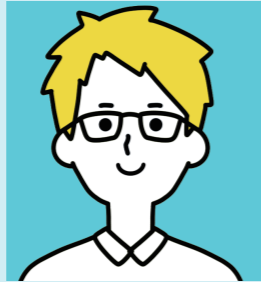


## 具体事例



Aさん  
30代 男性

- 夜回りで地下道にいるのを発見
- 1ヶ月ほど夜回りの際に定期的に話をする
- 生活保護申請
- 病院受診・住居確保



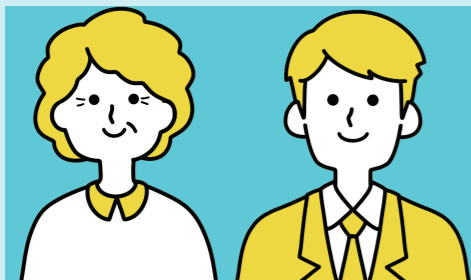
Bさん  
20代 男性

- SNS相談からつながる
- 生活保護申請同行
- 住居確保
- 就労支援実施中



Cさん  
10代 女性

- 行政から相談
- 親との関係が破綻しているため住居の契約などできない状況
- 緊急一時宿泊施設への入居
- 就職を希望しているが10代で親の承諾関係で就職が難航
- POPOLLOが身元保証をし、協力的な企業へ就職
- 給料が出てお金が貯まる
- 事情を考慮してくれる大家さんから物件を借りる
- 引っ越し



Dさん 40代 母親  
Eさん 10代 息子

- 現金給付事業からつながる
- 息子が大学進学するが家計が非常に厳しいと相談
- パルシステム奨学金の情報を提供し、パルシステムしずおかにも報告
- 奨学金申請 現在結果待ち

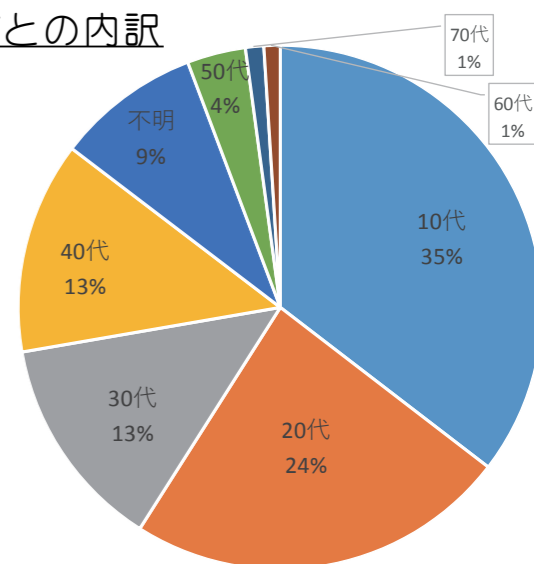
# 事業の成果

相談延べ件数  
4051件

新規相談総件数  
928件

|           |                              |
|-----------|------------------------------|
| ①ナビゲーション  | アクセス数 1305回<br>新規相談件数 92件    |
| ②有人LINE相談 | 相談延べ件数 828回<br>新規相談件数 156件   |
| ③電話・メール相談 | 相談延べ件数 184回<br>新規相談件数 172件   |
| ④夜回り      | 夜回り相談延べ件数 316件<br>新規相談件数 22件 |
| ⑤相談会      | 相談延べ件数 1418回<br>新規相談件数 486件  |

## 年代ごとの内訳



## 相談手段の割合

